

身殿とちりて坂川の横山の海を乗越えり
 昔日源平の戦ふ所おぼしむ祖伝ふまに印盛徳の
 参戸の海を渡りて新御の領は恩領地を賜ふ
 りけり今又彼事孫はふ承知あるまを横山の
 海を越えてはに安住全次郎より猿猴の月費を
 拾得の刀より分けてるふるも今彼より孫猿
 猴の月費片方お村すとせえり是祖の盛徳は領
 地を賜ふ今の盛徳は猿猴の月費をも勤功の責
 り預る是代武功の忠士なり去れぬ敬味方坂川

を中と阻てゐ阿川岸は打降くは洗砲射を
 打撃を殺刻 殺ひけり 昔日源三信賴政宗
 阿川より殺もかくやと云ふけり 龍虎大浦勢
 金次郎と打降く 多故今は是迄くは阿川
 けり 安得政文下軍とは是なりけり 文下
 村よりふきは昔年の意より再戦を 野人より
 殺降ある大刻の人と云ふは 彼の子孫大に
 なる人の爪と云ふは 是は降ある部より往如き
 の大兵の人と云ふは 時我子孫と云ふは 爲るは遠く